

 **HONDA**



CBR
650R

What R You Today?





スーパースポーツ直系のスタイリング、
官能的でエキサイティングなサウンド。
そして、世界初*1「Honda E-Clutch」の採用*2。
あらゆるシーンでの操る喜びを追い求め、
先進のテクノロジーを突き詰めた
直4ミドルスポーツの感動へ。

*1 Honda調べ(2023年10月時点) *2 タイプ別設定

CBR
650R



※写真は海外仕様車で、アクセサリ装着車。また一部の部品を取り外しています。Photo: CBR650R E-Clutch (右上のみCBR650R)

Design

コンパクト&アグレッシブを追求した、スーパースポーツ直系のスタイリング

スーパースポーツ直系のスタイリングを継承しつつ、魅せるデザイン形状と高速走行時のライダー居住性、ワインディングなどでの軽快感を高度に融合させた軽量コンパクトなデザイン。フロントからテールまで鋭く跳ね上がるようなシャープなスタイリングのカウルは、スピード感とモダンさを感じる先鋭的なスタイルへと進化。ミドルカウルは側面積の低減により軽快な車体挙動に寄与しながら、走行時のラジエーター排風を効果的に乗車空間の外側へ流し、よりライディングに集中できるよう配慮している。また、各パーツには空力性能を考慮した、アグレッシブで精悍なデザインを追求。ショートテール形状のリアカウルはソリッドな面構成とすることで、ダイナミックな性能を視覚的にも印象づけ、4灯の大型LEDを配置したテールランプは、高い被視認性と個性を表現している。

Photo: CBR650R E-Clutch



Clutch

世界初*1クラッチコントロール自動制御システムHonda E-Clutch

クラッチコントロールを自動制御することで、ライダーの手動による操作*2を不要とした「Honda E-Clutch (ホンダ イークラッチ)」を世界で初めて*1開発し採用*3。Honda E-Clutchは、発進、変速、停止など、駆動力が変化するシーンでライダーのクラッチレバー操作を必要とせず、最適なクラッチコントロールを自動制御することで違和感のないスムーズなライディングを実現。また、電子制御中でもライダーがクラッチレバー操作を行えば、手動によるクラッチコントロールを可能とし、ライダーの要求に幅広く対応している。さらに、システムのON/OFFを選択でき、システムON時は基本的にクラッチ操作を自動で制御。システムOFF時は通常のMT車と同様、常時（発進時、変速時、停止時）ライダーによるクラッチ操作が必要な設定としている。



※Honda E-Clutchカットモデル

Honda E-Clutch

Honda E-Clutchについて、さらに詳しく▶



*1 Honda調べ (2023年10月時点)

*2 シフトペダルによる変速操作は必要です。

*3 タイプ別設定

点灯中	◀ クラッチ自動制御インジケーター ▶	消灯中
	クラッチ自動制御状態	
+A	●スロットル操作のみで発進可能 ●ペダル操作のみで変速可能 ●停止時に自動でクラッチ切断	+A
クラッチレバー操作でマニュアル状態に移行		マニュアル状態 (制御介入無し)
条件を満たすことで自動制御に復帰		●従来のマニュアル トランスミッションと同じ状態



トルクコントロールスイッチ

4wayセレクトスイッチ



※メーターの写真は機能説明のため任意に点灯したものです。

Power Unit

スーパースポーツを予感させる、官能的な走りの歓び。648cm³水冷DOHC直列4気筒

エンジンは、インレットポート側カムシャフトのバルブタイミングを変更することで中回転域のトルクを向上。市街地での扱いやすさとワインディングなどでのキビキビした走りを両立している。さらに直列4気筒の吹け上がり感は、スポーツバイクならではの興奮と充実感を満喫できる出力特性としている。吸気系には走行時の風圧(ラム圧)により燃焼室への吸気充填効率を高め、高速走行時の動力性能にさらなるエキサイトメントを提供するツインラムエアダクトを採用。マフラーは、テールパイプ後端をライダーが排気音をより楽しめる角度とし、「直4」ならではのエキサイティングな走りサウンドを楽しむことができる。

より快適でスムーズな乗り味へ。アシスト&スリッパ[®]クラッチ*

アシスト機能がクラッチレバー操作荷重の軽減に貢献するとともに、スリッパ機能がシフトダウン時に発生するエンジンブレーキによるショックをやわらげるアシスト&スリッパ[®]クラッチを採用している。

*「アシスト&スリッパ」は株式会社エフ・シー・シーの登録商標です。

加速時やスリッパしやすい路面での安心感をもたらすHSTC (Honda セレクタブルトルクコントロール)

後輪への駆動カレベルを必要に応じて制御するHSTC。前後輪の速度差から算出された値に基づき、燃料噴射量調整によるエンジントルクの最適化で加速時の後輪スリッパ抑制やスリッパしやすい路面での安心感に寄与。システム作動は左ハンドルのトルクコントロール(TC)スイッチのON/OFFで選択が可能となっている。

※HSTCはスリッパをなくすためのシステムではありません。あくまでもライダーのアクセル操作を補助するシステムです。したがって、HSTCを装備していない車両と同様に、無理な運転までは対応できません。運転するときは急なアクセル操作を避け、安全運転をお願いします。

Chassis

軽量化とマス集中化に貢献するフレームと走りの楽しさを支えるサスペンション&ブレーキ

フレームは、スチールの持つしなやかな特性を活かしたツインチューブ形式。シートレール後端の形状、剛性バランスを最適化し、フレーム単体で-424gの軽量化を達成すると共にマスの集中化を追求している。さらに、ワインディング走行やコーナリングなどを軽快に楽しむことができ、マシンとの一体感を追求したライディングポジションは、シート前端のくびれ形状により快適な足つき性にも貢献している。フロントサスペンションのショーワ(日立Astemo株式会社)製SFF-BP*1倒立フロントフォークは、右側フォークに減衰機構とスプリングを装備し、左側フォークにスプリングのみを装備したS.F.F. (Separate Function front Fork)は、摺動抵抗の低減と車体の軽量化に寄与。また、リアサスペンションは高い路面追従性を追求している。ブレーキはフロントに、φ310mmフローティングディスクとラジアルマウントキャリパーを、リアには、φ240mmシングルディスクとシングルポッドキャリパーを組み合わせ、さらにABS*2(アンチロック・ブレーキ・システム)を装備している。

*1 SFF-BPはショーワ(日立Astemo株式会社)の登録商標です。

*2 ABSはライダーのブレーキ操作を補助するシステムです。ABSを装備していない車両と同様に、コーナー等の手前では十分な減速が必要であり、無理な運転までは対応できません。運転するときは急なブレーキ操作を避け、安全運転をお願いします。ABS作動時は、キックバック(揺り戻し)によってシステム作動を知らせてくれます。

Other Features

幅広いシーンでの走りの楽しさを追求した充実の装備

- Honda RoadSyncの操作や各種設定などができるスイッチをハンドル左側に装備
- 豊富な情報が見やすく、直感的に扱いやすい5.0インチTFTフルカラー液晶メーター
- ハザードランプを高速点滅させて急ブレーキを後続車にいち早く伝えるエマーゼンシーストップシグナル
- Honda独自の盗難抑止機構「H・I・S・S(Honda Ignition Security System)」

※エマーゼンシーストップシグナルは急ブレーキをいち早く後続車に伝えるためのシステムです。運転するときは不必要な急ブレーキを避け、安全運転をお願いします。



Honda RoadSync

スマートフォンとの連携を可能にした Honda RoadSync



CBR650RとスマートフォンをBluetooth[®]で連携し、ハンドルスイッチやBluetooth[®]接続されたヘッドセットを通じたライダーの音声などで、スマートフォンのマップやミュージックアプリなどの操作を可能とするHonda RoadSyncを採用。



※運転中のスマートフォン本体の操作はおやめください。※Honda RoadSyncのご利用には専用アプリのインストールが必要です。※アプリごとにご利用いただけるコンテンツが異なります。※Honda RoadSyncの機能に関する詳細および対応OSバージョン、対応アプリについては、Honda RoadSync関連ホームページ(https://global.honda.jp/tech/Honda_RoadSync/)またはスマートフォンアプリご案内ページ(<https://global.honda/en/voice-control-system/ja-top.html>)をご覧ください。※全てのスマートフォンでの動作を保証するものではありません。※Honda RoadSyncのご利用には、市販のバイク対応Bluetooth[®]ヘッドセット(別売)との接続が必要です。※アプリの利用、通信にともなう通信料金はお客様のご負担となります。※Bluetooth[®]は米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

※写真は海外仕様車で、アクセサリ装着車です。Photo: CBR650R

CBR650R



▶詳しくはこちら



CBR650R

車体色: マットバリスティックブラックメタリック

CBR650RA®J

メーカー希望小売価格 **¥1,100,000**

(消費税抜本体価格 ¥1,000,000)

CBR650R E-Clutch

車体色: グランプリレッド

CBR650RAC®2J

メーカー希望小売価格 **¥1,188,000**

(消費税抜本体価格 ¥1,080,000)



CBR650R E-Clutch

車体色: マットバリスティックブラックメタリック

CBR650RAC®J

メーカー希望小売価格 **¥1,155,000**

(消費税抜本体価格 ¥1,050,000)



主要諸元 CBR650R 【J】内はCBR650R E-Clutch

車名・型式	ホンダ・8BL-RH17
全長(mm)	2,120
全幅(mm)	750
全高(mm)	1,145
軸距(mm)	1,450
最低地上高(mm)*	130
シート高(mm)*	810
車両重量(kg)	209 [211]
乗車定員(人)	2
燃料消費率* ¹ (km/L)	国土交通省届出値:定地燃費値*(km/h) WMTCモード値*(クラス)* ³
最小回転半径(m)	3.0
エンジン型式	RH17E
エンジン種類	水冷4ストロークDOHC4バルブ直列4気筒
総排気量(cm ³)	648
内径×行程(mm)	67.0×46.0
圧縮比*	11.6
最高出力(kW[PS]/rpm)	70[95]/12,000
最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)	63[6.4]/9,500
燃料供給装置形式	電子式<電子制御燃料噴射装置(PGM-FI)>
始動方式*	セル方式

■道路運送車両法による型式指定申請書数値(★の項目はHonda公表諸元) ■製造事業者/本田技研工業株式会社

*1 燃料消費率は、定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法、車両状態(装備、仕様)や整備状態などの諸条件により異なります。

*2 定地燃費値は、車速一定で走行した実測にもとづいた燃料消費率です。

*3 WMTCモード値は、発進、加速、停止などを含んだ国際基準となっている走行モードで測定された排出ガス試験結果にもとづいた計算値です。走行モードのクラスは排気量と最高速度によって分類されます。WMTCモード値については、日本自動車工業会ホームページ (<https://www.jama.or.jp/operation/motorcycle/>) もご参照ください。

※価格はメーカー希望小売価格(消費税10%込み)で参考価格です。販売価格は販売店が独自に定めております。※価格(リサイクル費用を含む)には保険料・税金(消費税を除く)・登録などに伴う諸費用は含まれておりません。※詳しくはHonda Dreamネットワークにお尋ねください。※本仕様は予告なく変更する場合があります。※写真は撮影・印刷条件等により、実際の色と多少異なる場合があります。※表紙の写真は海外仕様車で一部合成によるものです。※本カタログ内の一部の写真はクロードコースで撮影したものです。また、走行写真は、プロライダーによる走行を撮影したものです。一般公道で走行する場合は制限速度を守り、無理な運転をしないようにしましょう。※CBR、Honda E-Clutch、Honda RoadSync、H-1・S・S、PGM-FIは本田技研工業株式会社の登録商標です。

点火装置形式*	フルトランジスタ式バッテリー点火
潤滑方式*	圧送飛沫併用式
燃料タンク容量(L)	15
クラッチ形式*	湿式多板コイルスプリング式
変速機形式	常時噛合式6段リターン
変速比	1速 3.071 2速 2.352 3速 1.888 4速 1.560 5速 1.370 6速 1.214
減速比(1次*/2次)	1.690/2.800
キャスト角(度)*	25° 30'
トレール量(mm)*	101
タイヤ	前 120/70ZR17M/C (58W) 後 180/55ZR17M/C (73W)
ブレーキ形式	前 油圧式ダブルディスク 後 油圧式ディスク
懸架方式	前 テレスコピック式(倒立スウ) 後 スイングアーム式
フレーム形式	ダイヤモンド



Hondaは廃棄二輪車のリサイクルを推進しています。当社が国内に販売した二輪車はリサイクルマークの有無にかかわらず、廃棄時にリサイクル料金のご負担はありません。但し、廃棄二輪車取扱店に収集・運搬を依頼する場合は収集運搬費用はお客様の負担となります。



Honda純正ウルトラオイル

カテゴリ・排気量別に使用条件を想定し、お勧めオイルをご提案いたします。詳しくは販売店またはホームページをご覧ください。



Safety for Everyone

交通事故死者ゼロを目指して

Hondaは「2050年に全世界でHondaの二輪車、四輪車が関与する交通事故死者ゼロ」を目指し、教育活動や政策への働きかけなど幅広い取り組みを行っています。

交通事故に遭わないためのアドバイス

Hondaは50年以上、安全運転を広める活動を実施。そのノウハウをもとにした、事故に遭わないためのアドバイスを「Honda Safety Portal」にまとめました。



Hondaのバイクに関するお役立ち情報

HondaGO BIKE LAB

“あなたとバイクをつなぐ”スマートフォン向けアプリ

HondaGO RIDE



Honda Dream

充実の購入サポート & 安心サービス

Owner's Card

Honda Dreamのお客様だけに様々なサポート特典で、モーターサイクルライフをより豊かに彩ります。



新車3年保証

Honda Dreamでご購入いただいた126cc以上の新車には、メーカー保証の2年に、プラス1年の保証をお付けいたします。

延長保証

Honda Dreamでご購入いただいた二輪車は、有償加入で最長2年間の保証期間延長ができます。

据置クレジット

一定額をあらかじめ最終回に据置き、残りの金額を分割してお支払いいただくプランです。

メンテナンスパック

法的に必要な点検、Honda Dreamが推奨する点検・整備をパックに。Honda Dreamの整備士による確かな点検・整備を実施します。

Honda 二輪ホームページはこちら▶



■Honda Dreamネットワークよりお届けします。

■お問い合わせ、ご相談はお近くのHonda Dreamまたは下記Hondaお客様相談センターまで。

全国共通フリーダイヤル 0120-086819(受付時間:9時~12時 13時~17時)

株式会社ホンダモーターサイクルジャパン
〒115-0055 東京都北区赤羽西6丁目36番2号
本カタログの内容は2024年11月現在のものです。



0SPK24CBR65R2 411 ©